

キネマ アンドロギュノス + Newsreel

# AGAIN: VISUAL PLEASURE

アゲイン！ヴィジュアル・プレジャー

ローラ・マルヴィとピーター・ウォーレンのシネマ

Film

feminism

Avant-Garde

来るべき  
プレジャー  
快樂に向けて。

## 料金

各プログラム——1,500円  
※事前予約可

## 上映作品

プログラムA  
『スフィンクスの謎』

プログラムB  
『クリスタル・ゲイジング』

2024.7.28/SUN  
13:00—17:00

彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール



# 来るべき快樂に向けて

フェミニズム、クィア、アヴァンギャルドに焦点を絞ったシネクラブ、キネマアンドロギュノスを結成いたしました。Newsreelの協力を得て、イギリスの映画理論家ローラ・マルヴィ(1941-)とピーター・ウォーレン(1938-2019)の映画を上映します。マルヴィは「視覚的快樂と物語映画」(1975年)で、映画という制度のもつ男性的な視線を暴き、後のフェミニスト映画理論や映画をめぐる言説に大きな影響を残しました。ウォーレンの代表作『映画における記号と意味』(1969年)は、映画記号学のランドマークとして、いまなお尽きせぬ問いを投げかけています。

精神分析、記号論、フェミニズム、シネフィリーの交錯する時代に優れた文章を残した二人は、言葉によって来るべきシネマを語るだけでなく、共同制作者としてカメラをとり、音と映像によってそれを試みていました。今回は、そうした「対抗映画」の実践を、日本語字幕付きで再上映。

## 上映に寄せて

真の革命的映画は、根本的に新しい映画美学からしか生まれ得ない。そのように謳ったロバート・クレイマーの戦闘的映画宣言の題名からその名を採ったNEWSREELは、仙台のまだ若い映画学徒がたった二人で運営する組織である。彼らはこれまでに三度にわたって、小規模ではあるがきわめて刺激的な上映プログラムを実現させている。とりわけ二回目の上映においては、ローラ・マルヴィとピーター・ウォーレンの作品群が、英国映画協会から権利を取得し日本語字幕をつけたうえで観客に供された。おまけに、大半は本邦初訳となる二人の代表的論考の数々を収めた冊子『ヴィジュアル・プレジャー』まで刊行している。今、この日本で、このような気概ある試みがアカデミズムからもジャーナリズムからも独立してひっそりと実践されていることに驚きを禁じ得ない。今後も国籍を問わず、わが国では広く知られることのなかった前衛的・政治的・非商業的映画を上映していく予定だというから、批評的出版物の刊行継続も含めて期待せずにはられない。

遠山純生(映画評論家)

## スケジュール

07.28(日)

13:10 プログラムA

『スフィンクスの謎』

15:05 プログラムB

『クリスタル・ゲイジング』

## 好評につき再上映。日本語字幕付き



### スフィンクスの謎 Riddles of the Sphinx

1977年/イギリス/91分  
監督・脚本・製作:ローラ・マルヴィ、ピーター・ウォーレン  
撮影:ダイアン・タメス/出演:ダイナ・スタブ  
マーデル・ジョーディン、クライヴ・メリソンほか  
素材提供: British Film Institute

1975年に「視覚的快樂と物語映画」を発表して間もないマルヴィが、ウォーレンとともにフェミニスト映画言語を实践した記念碑的作品。オイディプス神話のスフィンクスを下敷きに、7章立てで構成されたこの作品は、母性についての優れた省察となっている。娘をもつ中流女性ルイズの生活を13回の360度パンで捉えた第4章は、とりわけ注目に値する。全編を彩るマイク・ラトリッジの音楽も印象深い。



### クリスタル・ゲイジング Crystal Gazing

1982年/イギリス/87分  
監督・脚本・製作:ローラ・マルヴィ、ピーター・ウォーレン  
撮影:ダイアン・タメス/音楽:ローラ・ロジック  
出演:ダイナ・スタブ、メアリー・マドックスほか  
素材提供: British Film Institute

1980年代初頭のロンドン。SFイラストレーターのニール、シャルル・ペローの研究者ジュリアン、衛星写真の分析家ヴァーミリオン、ロック・ミュージシャンのキム——四人の人生が、不況下の都市で交錯する。時代へのメランコリックな眼差しをはらんだ「60年代と80年代の対比についての映画」(ウォーレン)であり、サッチャー政権下の文化人のポートレートとしても興味深い貴重な一本。

## ブックレット販売



1,500円(税抜)  
会場でお求めいただけます。

### 【収録内容】

「視覚的快樂と物語映画」(改訳)  
「映画、フェミニズム、アヴァンギャルド」(本邦初訳)  
「ゴダールとカウンターシネマ——『東風』」(本邦初訳)  
「二つのアヴァンギャルド」(本邦初訳)  
その他作品情報など

## Newsreelについて

Newsreel(ナウズリール)は、仙台を拠点に活動する映画コレクティブです。未公開映画や長らく上映されなかった傑作を年2回特集形式で上映し、確かなアクチュアリティをもった映画批評・理論を翻訳出版することで、オルタナティブなシネフィル/シネフィリーのための補助線を引いていきます。

@newsreel

@newsreel.cineclub

## アクセスマップ

### 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

住所  
〒338-8506  
埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

アクセス  
JR埼京線与野本町駅(西口)下車、徒歩7分



各プログラム  
¥1,500  
お申し込みはこちら



https://vpcg1.peatix.com